

JASRA ニュース VOL.13/2025.01.10

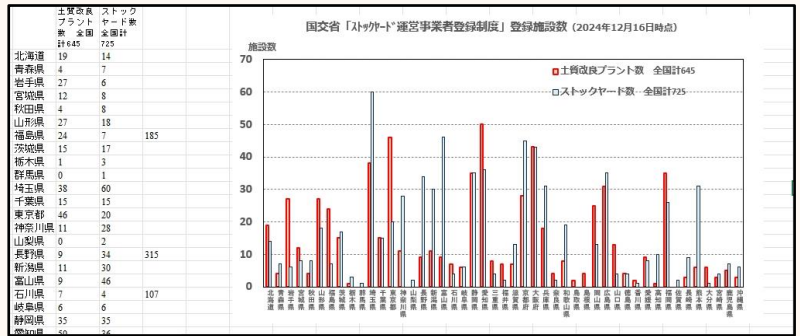
「登録ストックヤードデータベース」開設！

2024年12月27日、JASRA公式HPにおいて、国交省「登録ストックヤードデータベース」サイトを開設しました。
[【https://jasra.or.jp/stockyard/index.html】](https://jasra.or.jp/stockyard/index.html)

本資料は、国土交通省不動産・建設経済局建設業課のご了解を得て、各地方整備局HPに掲載している各地方の登録施設情報を一般社団法人全国建設発生土リサイクル協会が集約し、全国版として公表するものです。



「ストックヤード運営事業者登録状況全国版」および「ストックヤード運営事業者登録状況集計結果」をエクセルファイルにて公開。2024年12月16日時点で、土質改良プラント登録数は全国で645件あり、愛知県、東京都、大阪府、埼玉県の順に多くなっています。



また、「マップ検索システム」では、地図情報から最寄りのストックヤードを検索でき、受入土質／搬出土質の検索条件で絞り込むこともできます。



今後、本サイトで情報を随時アップデートする予定です。

「JASRA 事業構想プロジェクト研究」研究員募集

JASRA は事業構想大学院大学と共同で「JASRA 事業構想プロジェクト研究」を2025年に開校します。

本研究は、事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、各自のテーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行うものです。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広めながら、研究員各自の新事業創出を支援します。また、参加者には事業構想研究所研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できるようにします。募集要項・お申込は、以下詳細をご確認ください。

詳細：https://www.mpd.ac.jp/events/jasra_pi

会員紹介

株式会社 松浦組

広島県福山市東手城町 1-30-35
TEL 084-941-3630

設立 64 年の実績で改良土を普及

当社は 1961 年（昭和 36 年）に、土木建設業として起業致しました。

産業廃棄物を含めたリサイクル事業を始めたのが平成元年。広島県・岡山県に建設発生土リサイクルプラント設置、また広島県・岡山県に破碎プラントを設置しました。

平成 15 年、改良土と再生砕石が「岡山県エコ製品」の認定を受けました（下左図）。



また、平成 16 年には改良土が「広島県登録リサイクル製品」にも認定され、改良土の普及が促進されました（左図）。

土質改良だけではない充実した設備とネットワーク

現場からプラントへ、プラントから現場へ。備後・井笠一円をくまなくカバーする松浦組のリサイクルネットワークは、福山・笠岡・金光の 3 拠点。工事現場への迅速なリサイクル資材供給と廃材搬入・処理を実現します。コストと時間、そして環境への負荷を最大限に抑えたリサイクルサービスを提供しています。

福山工場および笠岡工場には、工場内に広島県と岡山県との県境があり、両県から許認可を取得して運営しています。ここには土質改良プラント以外に、製砂プラント、汚泥プラント、燃え殻・ばいじんプラント、破碎プラントなどがあります。



また、岡山県浅口市にある金光工場でも建設発生土の受入・リサイクル、改良土の販売を行っています。

◀広島県福山市大門町と岡山県笠岡市茂平にまたがる工場群

建設発生土リサイクルの種類

1. 原料土調整と改良土の製造

建設発生土の第1種・2種・3種をストックヤード内でそれぞれ荷卸し場を分けて受入を行い、製造段階でこれら3種類の発生土を混ぜて一定基準の原料を造る事により、プラント処理後の製品を安定させます。お客様の現場に原料次第で粒度の偏った改良土にならないよう、安定した改良土を供給しております。

発生土を混合して一定基準の原料を造る事により、最適な固化材添加量を数値化し、作業員の共通認識が可能。石灰など固化材の添加量減少による環境負荷低減型改良土を製造しております。

2. 水洗浄処理

砂質系の建設発生土を洗浄施設にて4mmアンダーにふるい分けし、再生砂・洗い砂として販売しています。

洗浄後のスラリーはフィルタープレスにてプレス後の「脱水ケーキ」にして、他の発生土と粒度調整の原料として再利用しています。



3. 流動性改良土、再生鋼土・抱土

上記のほか、高い流動性を持ち狭小な空間でも容易に埋戻しや充填ができる「流動性改良土」、ため池の改修工事など透水係数を考慮した「再生鋼土（はがねど）」「再生抱土（だきど）」なども製造・販売しております。



その他の事業

平成20年に「セメント・薬剤固化施設」、平成21年には「造粒固化施設」を建造し、リサイクル事業を支える施設を増設して参りました。

福山工場より車で15分の所、新笠岡港にて船舶での残土受入、改良土の出荷も行っています。

当社では、長年の建設発生土リサイクルの実績により、独自のノウハウを蓄積して参りました。その経験を生かして、新しいリサイクルビジネスを探っておられる企業様に対して当社のノウハウをご提供し、リサイクルプラントの構築・運営についてのコンサルティングを展開しています。これからプラント導入を考えている企業様は、ぜひ一度ご相談ください。



▲平成20年 セメント・薬剤固化施設設置
(広島県福山市大門野々浜沖浦山 7482-1)



▲平成21年 造粒固化施設設置
(広島県福山市大門野々浜沖浦山 7482-1)

会員紹介

北陸エースコン株式会社

石川県金沢市辰巳町口 21
TEL 076-229-0050

事業概要・取り組み

当社は 1937 年に創業し、1972 年に法人化されて今年で 54 期を迎えております。創業から地元金沢の発展と当社周辺エリアへのインフラ普及を第一に、土木工事業・コンクリート製造業を営んで参りました。1997 年に 3 つ目の事業としてエアモルタルや流動化処理土等の専門工事を開始し、全国の安心安全な環境づくりに貢献する企業を目指しています。

現在、ご提案している上記の特殊技術・商品は、充填技術と混練技術の応用から地盤補強・耐震補強などあらゆる分野の機能向上に貢献しております。当社は工法の改善や新分野の技術開発、自社技術の更なる向上・人材育成に注力し、お客様の多様化するニーズ・高度な技術革新に答えて参ります。

営業品目・商品

◆土質改良工（固化材・特殊粉体（不溶化・放射能吸着材）、移動式・固定式混合攪拌）

◆ベントナイト混合土遮水工



▲第二東名工事にて初採用



▲ 第二東名での不溶化工事



▲ベントナイト混合土構築



◀移動式固定プラント

第二東名工事における「自走式土質改良工事」第一号に採用され、数多くの沿線工事に携わる事が出来ました。1998 年 3 月に購入した初代リテラ「BZ200（製造番号 13）」から当社の土質改良事業が始まり、現在ではコマツ「BZ210」2 台、日立「SR2000G」3 台、移動式固定プラント 2 台を有し、全国各地にて稼働しております。

お客様の要求される混練り品質・量に応じて、固化材、性状改質剤、自走式土質改良機、移動式固定プラントなどから現場に合うものを提案しております。

- ◆エアモルタル・裏込め注入工（可塑性グラウト、発泡ウレタン）
- ◆軽量盛土 FCB 工法（気泡混合軽量盛土工法）



軽量性・耐水性・施工性を考慮し、“あってはいけない空洞”に注入する工事です。軽量盛土 FCB 工事は全国で 800 万 m³ 以上施工された軟弱地盤・急峻な地形における拡幅盛土です。これから NEXCO や国交省において FCB 工法が橋を埋立てる橋梁土工化に新たに採用されていきます。各種条件に合わせた多種多様な材料・工法を提案して参ります。

◆流動化処理土製造打設



建設発生土にセメント・混和材・混り水等を加えた製造打設。近年は杭施工前に支障物を撤去した後の置換材として用いられる事が多く、埋戻・転圧のできない部位に広く利用されています。

◆地盤（宅地・店舗等）の調査・設計・改良補強・保証

◆土木資材販売・クリアモールド製造販売



▲地盤調査（SWS 等）

▲地盤補強（柱状改良）

▲クリアモールド販売

SWS（スクリュウウェイト貫入）試験、ラムサウンディング試験、PDC（ピエゾドライブコーン）試験により地盤調査・液状化判定を行い、上乗せ荷重やその他条件に応じた設計を実施。表層改良や柱状改良等の改良補強工事を実施し、地盤保証を行います。クリアモールドは当社にて開発・製造・販売。特許を取得し、NETIS 登録も完了いたしました。中身が見えて、簡単で素早い脱型が可能です。

第5回建設発生土リサイクル講習会 報告

「資源有効利用促進のための建設発生土リサイクル」

令和6年11月21日、第5回 JASRA 建設発生土リサイクル講習会「資源有効利用促進のための建設発生土リサイクル」が東京・新橋会場とWEBで併催され、合計約140名の参加者が集った。

第1部では、国土交通省から「建設発生土の有効利用等の取組」および「建設工事から発生する土の搬出先の明確化等」について講演され、サーキュラーエコノミー（循環経済）における建設発生土の役割、ストックヤード運営事業者登録制度などが解説された。

第2部では、都市部の自治体を代表して、東京都・静岡県・福岡県から各地の建設発生土リサイクルの取組を紹介。東京都建設リサイクルガイドラインの更新、静岡県「みらいの県土研究会」の設置、福岡県における改良土の承認制度などが解説された。中でも「静岡県の取組みは官民が一体となっており、素晴らしいと感じた」と参加者から賞賛の声が上がった。

第3部では、JASRA「品質・技術部会によるプラント運用手引き」と題して、プラントを運営する会員から主に品質管理について解説。品質・技術部会員を代表して（株）吉光組の道勇治氏が「改良土の品質管理基準および適用用途標準を策定する必要がある」と述べ、現在の自治体への対応として宮城県と埼玉県の事例を紹介した。

今回の講習会開催にあたって、WEB参加を含めて多くの行政関係者に参加いただいた。建設発生土を取り巻く環境を全国的に整備していただく意味でも、同様の講習会を今後も開催して行きたい。



▲静岡県 交通基盤部建設経済局技術調査課 技術調査班長 牧野忠広氏



▲埼玉県の改良土プラントの運用事例を説明する三立建設（株）塩野真康氏

お知らせ

【1】行事予定

・2月26日（水）：第10回 JASRA 技術研修会&2025年新年会／会場：ビジョンセンター新橋&第一ホテル東京（東京・新橋）

【2】1月15日現在の会員数

・正会員69社 賛助会員31社 特別会員2社 合計102社

【3】投稿記事の募集

・「JASRA ニュース」では、会員の皆様からの投稿記事を募集しています。ご希望の方は、下記事務局までお問合せください。

事務局

一般社団法人 全国建設発生土リサイクル協会

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町 22

電話：03-3526-2129 FAX：03-3526-2139

E-mail：info@jasra.or.jp URL：<https://jasra.or.jp/>

-----JASRA ニュース VOL.13 令和7年1月10日発行-----